


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章	 <b>都立王子特別支援学校</b>		知的障害	基	通学区域	北区、文京区、豊島区、板橋区・足立区・荒川区の一部		
	<b>校訓 「自立に向かって 確かな学び」</b>				進路実績	一般就労率40%(事務・清掃・食品関係等)		
基	所在地	〒114-0033 北区十条台一丁目8番41号	電話番号	03-3909-8777	本 情 報	教 育 課 程 の 特 徴	①	12年間の個に応じた一貫性のある指導の充実を目指す
	アクセス	(1) JR埼京線 十条駅東口下車 徒歩8分 (2) JR京浜東北線 東十条駅下車 徒歩15分 (3) JR京浜東北線 王子駅下車バス『赤羽駅西口』行郵便局前』下車徒歩7分					②	小学部からの系統的かつ発展的なキャリア教育の充実を目指す
設置学部	小・中・高等部			③			地域特性や地域資源を活用した教育活動の充実を目指す	
幼児・児童生徒数	小学部164名、中学部84名、高等部193名 全校441名			④			外部専門家を活用した専門性の高い教育を目指す	
学級数	小学部35学級、中学部18学級、高等部27学級 全校80学級			⑤			児童・生徒の課題に応じた教育課程を実施	
本 情 報	副籍実施状況	交流活動を行っている割合(小92名、中40名 計132名、53.2%)、直接交流(小53名、中13名 計66名、26.6%)間接交流(小39名、中27名 計66)				報	学校評価	・回収率(保護者 83.6% 教員96.4%) ・児童・生徒、地域関係者にも評価を実施。継続して肯定的な評価を受けている。
	スクールバス	9台					ホームページ	<a href="http://www.oji-sh.metro.tokyo.jp">http://www.oji-sh.metro.tokyo.jp</a>
その他	平成31年度に、王子第二特別支援学校と王子特別支援学校が改編されて新しくなりました。							

目指す学校 **児童・生徒が地域社会の一員として、「自立」への歩みを着実に進めることができるよう、「確かな学び(専門性の高い学び)」の場を築く**

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目 標 ①	<b>生きる力を育むために小・中・高一貫した教育課程</b> ①アセスメントによる一人一人の課題把握に基づいた指導計画の作成と個に応じた指導の充実。 ②小・中・高等部の教科等シラバスの作成 ③中・重度生徒の企業就労の充実	①小学部からの12学年、「太田ステージ」のアセスメントを実施し、指導計画の作成と指導に生かした。また、今年度の該当学年(小1、小4、小6、中1、高1の外部入学生)は、外部専門員によるアセスメントと助言を受け、指導に生かすことができた。 ②各教科のシラバス作成に取り組んだ。3学期には、講師を招いて一部シラバスの発表を行い、助言を受けた。「年間指導計画」と連動させる等の課題について改善すべく研究となるよう次年度につなげていく。 ③今年度、高等部3年生66名の進路先のうち、29名(43%)が企業就労であった。うち8名(27%)が基礎類型の生徒で、うち5名(17%)が療育手帳3度であった。本校作業学習で行っている除菌清掃業務を、企業の付帯業務から独立させていただき、職業上重度の生徒たちが6名就労した。	
目 標 ②	<b>豊かな心を育む教育</b> ①アートプロジェクト展、ニケ展への出品 ②主権者教育、オリンピック・パラリンピック教育の推進 ③児童・生徒の人権を尊重した教育を推進し、「体罰ゼロ」の徹底 ④学校いじめ対策委員会を活用し、「いじめゼロ」の徹底	①アートプロジェクト展には、学年で2点ずつ出展し、1次では5名、2次では中学部1名、高等部2名の表彰を受けた。 ②地域の選挙管理委員会と連携して、現実の選挙を模した形で、選挙を体験できるように工夫した。オリンピック・パラリンピック教育では、バスケットボールのオリンピック候補選手を招いて直接具体的な指導をもらい、生徒たちも意欲的に取り組めた。 ③学期に1回、全校児童生徒を対象としたアンケートを実施し、未然防止、早期発見、迅速な対応に取り組んでいる。また、毎週、児童生徒の不安を聞き取る時間を設定している。 ④年3回実施しているいじめ防止アンケート、日常の児童生徒の状況把握等を行い、委員会で確認し未然防止に取り組んでいる。また、サポートチームにも定期的な報告を行い助言を受けている。	
目 標 ③	<b>センター的機能の発揮</b> ①小学校・中学校・高等学校の連合コーディネーター会議の実施 ②副籍交流の充実 ③活用しやすい学校ホームページの作成と広報の充実	①地域の都立高校における特別支援教育の充実への支援と小・中・高一貫した支援、指導の充実を目指し、年3回本校通学区域の都立高校、区立小・中学校等と特別支援教育コーディネーター連絡会を開催した。 ②約半数が副籍交流を行っている。現在交流を行っているケースについて内容の充実を図るため、副籍校との打ち合わせを丁寧に行った(特に直接交流)。出前授業の実施(7件 保護者による出前授業含む) ③学校の改編に伴い内容を見直し、新たに見やすくした。各学部の月ごとの報告や行事の取組等学校の情報を広く都民に公開するとともに、必要な情報提供に努めた。更新は定期的に行い計画的に掲載することができた。	

数 値 目 標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	進路指導における希望者全員就労							100	100			
目標②	外部人材を活用した体験学習等							10	13			
目標③	学校評価における保護者肯定的評価							90	86			



2019年  
南側校舎 完成  
北側校舎 地域交流室、第二食品加工室(仮称) 完成  
予定  
グラウンド 完成予定  
2021年

